

## 心の壁をなくそう

広州日本人学校では、これからの国際社会を担う子どもたちを育てるため、語学教育にも力を入れています。語学教育というと英語をイメージされる方が多いかもしれませんが、でも、JSGは一味違います。英語はもちろん、中国語の授業も行っています。今回は授業の一場面をご紹介します。

この日の学習は『すごろく』を使った楽しいものでした。このすごろく、実は普通のものとは少し違います。マスに書かれている地名を中国語で言ってから進みます。また、途中で中国に関する問題も出ます。例えば、「広州タワーの中国名は？」という問題。みなさんをご存知ですか。正解は『小蛮腰』です。楽しみながら、自然と中国語の発音や文化に触れることができます。授業ひとつとっても、教員の工夫がたくさんつまっています。



中国語の授業は小中学部全学年で行っているため、学年に応じた指導をしています。具体的には、小学校低学年にはイラストやジェスチャーを用い、視覚的に分かりやすく、小学校高学年以上の中級クラスでは、できるだけ中国語のみで授業を行うなどの取り組みです。

『人と人との交流で大切なことは、心の壁をなくすこと。言葉の壁にとらわれずに関わろうとする、その気持ち。』本校中国語教員の言葉です。語学教育において、育てていきたい大切な心です。

## 本の世界へようこそ！



本校では月に一度、保護者ボランティアの方にご協力いただき、本の読み聞かせをしています。始業前の朝のひとときは、みんなが楽しみにしている時間です。お話が始まると、子どもたちがぐっと物語の世界へ引き込まれていくのが分かります。友達と肩を寄せ合い、同じ物語を聞く時間はかけがえのないものです。

学年や季節に合うものを…お話にはボランティアの方々の思いが詰まっています。中には中国語のものもあり、その時は特に、ゆっくりと聞き取りやすいように読むことを心掛けているそうです。学んだ中国語が出てくると、みんなの笑顔がはじけます。子どもたちが一生懸命聞いてくれること、またたくさん感想を言ってくれることが嬉しいと言ってくれる保護者の方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々に支えられ、今日も子どもたちは生き生きと学校生活を送ることができています。